平成 21 年 3 月 26 日

各位

石油資源開発株式会社

北海道大学創成科学共同研究機構における石油資源開発株式会社寄附講座の開設について

石油資源開発株式会社は、北海道大学創成科学共同研究機構(平成 21 年 4 月より創成研究機構研究部)に当社の寄附による「JAPEX 地球エネルギーフロンティア研究部門」を、平成 21 年 4 月から 5 年間にわたり開設することといたしました。

本寄附講座では、地球エネルギーを基軸にした新しい研究領域の創成と研究成果の社会への還元に取り組みます。

北海道及び周辺海域の地下深部には莫大な量の有機質堆積岩類が存在しており、地球エネルギー資源に対して高いポテンシャルを持つことが知られています。これまでに蓄えられたデータにより、極東ロシア・サハリンから北海道中央部、三陸沖を縦断する地域の地下深部には新生代始新世(約 5,600－3,400 万年前)の地層が広域的に分布していることが分かってきました。この地層は大量のコールベッド(炭層)を含んでいることが特徴で、当社が発見し 1996 年から生産している国内最大級の勇払油ガス田(地下深度 3,900～4,800m)も同地域に位置しており、産出している油ガスは新生代始新世のコールベッドに由来しています。地下の大深度にコールベッドが広く分布しているのは、地殻変動が激しい日本や東アジアの大陸周辺部に共通する特徴であり、これらのコールベッドは深く埋没し十分な地熱を受けていることから、熟成作用によって大量の石油・天然ガスを生成すると考えられます。本寄附講座では地下深部のコールベッド中で生成した石油・天然ガスの挙動を解明し、活動的な地域における新しいタイプの石油・天然ガス鉱床の形成について研究提案します。また，新生代の東アジア地域に形成された莫大な量のコールベッドと地球環境・地球システムの進化に関する研究も推進し、地球エネルギー資源と地球環境変動に精通した人材の育成にも努めます。

当社は、半世紀にわたり日本の石油開発のリーディングカンパニーとして、国内外において石油・天然ガスの探査・開発、天然ガスパイプライン網整備等の活動を続けてまいりました。本寄附講座における研究教育活動を通じて、国内における新たなエネルギー資源ポテンシャルを見出すとともに、新たな資源開発技術をもって国際的な資源確保と安定供給、またエネルギー問題の改善に取り組んでまいります。

記

【寄附講座の概要】

1. 講座名称：　JAPEX 地球エネルギーフロンティア研究部門
　　英文名：Research Division of JAPEX Earth Energy Frontier
2. 設置場所：　北海道大学創成科学共同研究機構(平成 21 年 4 月より創成研究機構研究部)
3. 設置期間：　平成 21 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日までの 5 年間
4. 寄 附 者：　石油資源開発株式会社
5. 担当教員：　鈴木　徳行　教授(北海道大学理学研究院教授との兼任)
　　齋藤　裕之　特任助教(専任)
　　長谷川　精　博士研究員(専任)
6. 研究内容：　①地下深部におけるコールベッドメタン・シェールガスの挙動に関する研究
　　②新生代の石油システムと地球システムに関する研究

以上